

## 「平成29年相模の大凧まつり」結果概要

1 開催日時 平成29年5月4日（木・祝）・5日（金・祝）午前10時～午後4時

2 開催場所 相模川新磯地区河川敷  
新戸地区凧揚げ会場（8間凧、4間凧）  
勝坂地区凧揚げ会場（5.5間凧、3間凧）  
下磯部地区凧揚げ会場（6間凧、3間凧）  
上磯部地区凧揚げ会場（6間凧、4間凧）

3 主催者 相模の大凧まつり実行委員会（実行委員長 川崎 喜代治）

4 期間中の観客数

期間	観客数	ピーク	天候
5月4日（木・祝）	4会場延べ 80,000人	13:30 35,000人	晴れ
5月5日（金・祝）	4会場延べ 90,000人	14:00 40,000人	晴れ
両日合計	170,000人		

前回は5月4日 70,000人、5月5日 90,000人、計160,000人  
過去最高の人出は平成22年の180,000人

5 経過

5月4日・5日の両日、相模原市の伝統行事「相模の大凧まつり」が開催されました。

今年の題字「<sup>きせい</sup>輝星」には、本市をホームタウンとするノジマステラ神奈川相模原のなでしこ1部リーグでの飛躍を祈念するとともに、すべての国が星のように輝く明るい世界になるようにとの願いが込められています。

5月4日は快晴で風にも恵まれ、各会場では午前11時頃から大凧揚げにチャレンジしました。上磯部地区の6間凧は2時間半以上大空高く舞い上がり、また、最も大きな新戸地区の8間凧は3回のチャレンジを行い、4分を超える滞空時間を記録しました。

5月5日も引き続き天候には恵まれたものの、前日より弱風であり、各地区とも記録を伸ばすことができませんでしたが、複数回にわたりチャレンジを繰り返す姿に、訪れた観客から大きな歓声が沸きあがりました。

なお、4日に行われた凧揚げの際に引き手の男性3名が負傷しましたが、いずれも軽傷でした。この事故を踏まえ、実行委員会では5日の開催にあたり、関係者を集めて基本動作の確認等について改めて講習を行い、安全対策並びに事故の再発防止について周知徹底を図りました。

\* 各地区の凧揚げ状況については次のとおりです。

## 各地区の凧揚げ状況

(5月4日) 天候：晴れ

地区名	凧揚げ回数	最長時間	時刻(何回目か)	風向き
新戸	8間凧3回	4分15秒	午後1時35分 (1回目)	南風
勝坂	5.5間凧1回	74分46秒	午後1時20分 (1回目)	南風
下磯部	6間凧4回	20分00秒	午後0時55分 (2回目)	南風
上磯部	6間凧1回	157分10秒	午後1時25分 (1回目)	南風

これまでの8間凧の最高記録...平成14年5月4日 6時間7分55秒

(5月5日) 天候：晴れ

地区名	凧揚げ回数	最長時間	時刻(何回目か)	風向き
新戸	8間凧7回	25秒	午後2時41分 (2回目)	南風
勝坂	5.5間凧4回	56秒	午後3時30分 (4回目)	南風
下磯部	6間凧2回	8分00秒	午後3時30分 (2回目)	南風
上磯部	6間凧7回	2分00秒	午後3時19分 (6回目)	南風

お問い合わせ  
商業観光課  
担当：古屋、石塚  
電話：042-769-8236